

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
1	1	1	議会費	146 147

部局名	議会事務局
課名	議事課

I：事業概要

施策事業名	議員人件費
事業目的	犬山市議会議員20名に対する報酬や期末手当及び共済費負担金を支払う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●犬山市議会議員20名に対して毎月の報酬及び、年2回(6月・12月)の期末手当の支払いをする。 ●市議会議員共済会に対して共済費負担金(事務費負担金、給付費負担金：年4回)の支払いをする。
事業の成果・効果	犬山市の議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例に基づき、議員報酬及び費用弁償等の支出が適切に完了した。また、市議会共済会に対し、共済費負担金の支出が適切に完了した。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

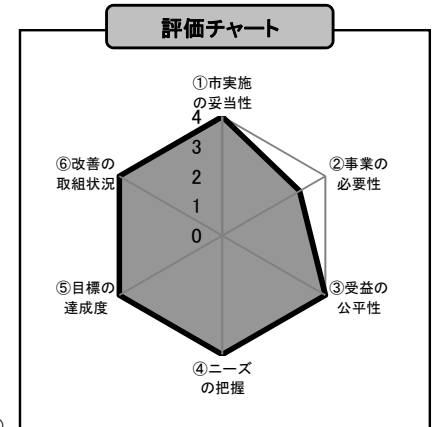
(総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	他市比較
議員人件費	203,664	0	203,664	100%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	203,664	0	203,664	100%	4	4	4

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費	H29決算	H30決算	R1予算	
		204,668	203,664	202,199
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	204,668	203,664	202,199
一般財源の割合	100%	100%	100%	



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	犬山市の議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例に基づき、実施するもの
②事業の必要性	3	上記のとおり
③受益の公平性	4	市民の代表である市議会議員の報酬等支払いに関するものであるため
④ニーズの把握	4	公表している報酬額により執行している。
⑤目標の達成度	4	毎月の報酬、年2回の賞与、共済費負担金の支払いが完了している
⑥改善の取組状況	4	市議会議員の報酬等に関するものであるため、引き続き条例に基づき実施していく

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

平成30年度に見直しを実施した事項	犬山市の議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例に基づく事業であるため今後も条例の規定どおり実施していく
令和元年度に見直しを実施している事項	上記と同様に条例に基づき実施
今後見直しを検討する事項	特になし

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
条例の規定に基づき実施	特になし

平成30年度決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
1	1	1	議会費	146~149

部局名	議事事務局
課名	議事課

I：事業概要

施策事業名	議会運営
事業目的	議会運営及びそれに係る事務の適切な執行のため
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●議会事務 議会運営に必要な事務及び職員の資質向上に関する書籍等の購入。 ●議会広報・公聴 開かれた議会運営に向け、市民との意見交換会の実施や市議会だより、議会中継等により情報公開に努めている。市議会だよりは「手に取りたくなる紙面づくり」を目指し、本年度からリニューアルを行った。 ●議会会議録作成 法に基づき、議事録の作成(業務委託)を行い及び永年保存している。 ●正副議長公務 各種議長会の定期総会出席や、姉妹都市との交流を行った。 ●行政視察・交流 提携姉妹都市や、行政視察での議員間交流により、相互の繁栄や福祉増進につなげている。 ●政務活動費 各会派の政務活動における経費に対する補助を行う。適正な運用管理を把握するため、定期的に活動実績の確認をし、精算、残金の返納を行った。又、HPに公表した。
事業の成果・効果	議会運営及びそれに伴う事務が適切に執行できている

II：個別事業内訳

(単位：千円)

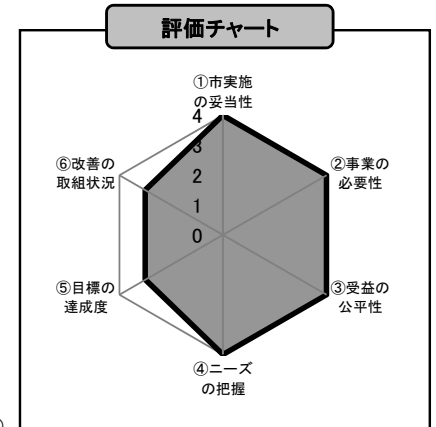
(総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	利便性向上	他市比較
議会事務	624	0	624	100%	4	3	4
議会広報・広聴	4,096	0	4,096	100%	4	3	4
議会会議録作成	2,573	0	2,573	100%	4	4	4
正副議長公務	1,338	0	1,338	100%	4	4	3
行政視察・交流	1,171	0	1,171	100%	4	3	4
政務活動費	2,687	0	2,687	100%	4	3	4
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	12,489	0	12,489	100%	4	3	3

III：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費	H29決算	H30決算	R1予算	
		12,787	12,489	18,391
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,787	12,489	18,391
一般財源の割合	100%	100%	100%	



IV：事業の評価 (4段階評価、PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	法廷業務である本会議の会議録作成や市議会だよりの発行、旅費支給等、実施すべき事業である。
②事業の必要性	4	会議録検索システム、録画映像配信システム等の利用者数によりニーズを把握している。また、フリースピーチや市民との意見交換会において直接市民から得た意見(議場の声が聴きにくい等)から、市民ニーズの把握に努めている。
③受益の公平性	4	市民全体に向け情報公開している。
④ニーズの把握	4	会議録検索システム、録画映像配信システム等の利用者数によりニーズを把握している。また、フリースピーチや市民との意見交換会において直接市民から得た意見(議場の声が聴きにくい等)から、市民ニーズの把握に努めている。
⑤目標の達成度	3	情報発信について、さらに工夫することでより多くの市民の方に情報発信、情報提供できる余地はあると考える。
⑥改善の取組状況	3	議員とともに協議し、今後も業務改善に取り組んでいく。

V：業務の総点検 (PDCAサイクルのCheck)

平成30年度に見直しを実施した事項	市民フリースピーチ制度や市民との意見交換会など、市民参加の場を増やし、声を聴く機会を増やした。
令和元年度に見直しを実施している事項	市民フリースピーチ制度のマイナーチェンジを行い、様々な立場意見を聴くように努める。
今後見直しを検討する事項	特定の市民ではなく、幅広く市民の意見を聴けるよう、市議会だよりやフェイスブックなどを活用し、まず議会に関心を持ってもらえるようにすること。

VI：課題とその対応策及び今後の方向性 (平成30年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
録画映像配信システムの利用者の増加	システムについて、市議会だよりやフェイスブックなどで行い、周知し利用者を増やす。